

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご6		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の特性に合わせた支援プログラムが設定されている。こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。また集団での活動も多く、イベントも多く子ども自身が主体性・役割を持てる環境である。	プログラム立案では専門職の意見も取り入れながら、利用児童の発達課題を捉えた支援を行っている。利用児童に対する関わり方も職員同士で共有しながら、児童一人一人にあわせた支援を行っている。各事業所合同での取り組みを通じて、子供自身の経験・自律スキルを習得している。	専門的な知識・スキルの習得を図りながら、今後も継続してプログラムの立案をしていきます。一人一人のオーダーメイドの支援もしていきけるようにしていきます。
2	利用児童のほとんどが通所を楽しみにしており、保護者からも安心感や満足感を持たれている。集団活動を通して園とは違う環境下での仲間・居場所づくりをしております。	集団での活動を多く取り入れることで子供たちにマナーやルールなどの気づきを持ってもらうようにしています。またトラブルの際には職員それぞれが気持ちを言語化させ、対人スキルの習得を早期から支援しています。	主体性を出してもらうように活動などに参加できるように、主体的になにをしたいか等を決めてもらうようにしてもよいのではないかと思います。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	毎日送迎も行っており、日ごろから保護者とのコミュニケーションはできています。特に相談された場合は、話を聞くだけでなく、他の職員と共通認識となるように報告をしている。	全ての職員が質の高い相談をできるように、研修などにも積極的に参加をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のバリアフリー化、児童たちが心地よくすごしやすい環境であるかが、保護者間で認識されていないので、そこを改善したいです。	手すりなどはつけているが、階段や段差が多く小さい子や身体的に不器用さがある子には少し危険な印象を持たれているか。また事業所内を見学する機会が契約前の見学・契約時のタイミングしかないため、保護者からのイメージが弱いと考えます。	段差などを減らしていけるところは、福祉用具も取り入れていきながら改善をしていきたいです。また現在利用されている児童の保護者も事業所内を見学できる機会を増やしていきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるのかわかりません。	法人内で年に一度、「こどもまつり」として外部の方も含めた大きなイベントをすることはあります。地域の他の子供たちとの交流は実際のところあまりありません。	地域交流の一環で事業所利用児と地域の子供たちが、関わるイベントの開催を社内で提案してみます。
3	防災訓練の実施、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されたことへの保護者に周知・説明が不十分になっています。	マニュアルは作成し掲示もしていますが、保護者などに配布しておらず、情報の共有や説明などが不十分になっています。	万が一に備えて、保護者にも事業所で策定されたマニュアルや避難訓練の取り組みを積極的に公開していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 でいさーびす あいりんご6

2025年 3月 26日

公表日

利用児童数 4名

回収数 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67%	0	0	33%	みたことがないのでわからない	保護者様が気軽に見学できる機会を用意します
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	67%	0	0	33%	みたことがないのでわからない	保護者様が気軽に見学できる機会を用意します
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67%	0	0	33%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	67%	0	0	33%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	67%	33%	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0	0	0	色々な活動があるのでいい	今後も継続して支援を提供します
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	33%	0	0	67%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	67%	0	0	33%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	67%	0	0	33%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	67%	0	0	33%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	33%	0	0	67%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	67%	0	0	33%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33%	0	0	67%		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	67%	0	0	33%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	0	0	33%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33%	0	0	67%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	67%	33%	0	0	お友達のことなどを話してくれて楽しそうな様子	継続して楽しく通える事業所づくりに励みます
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0	0	0	満足している	今後も適切な支援を提供できるよう励みます

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	でいさーびす あいりんご6	公表日 2025年 3月 26日
------	---------------	------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	人数が多いときは療育部屋や勉強部屋も使い広くしている	人数が多いと狭いと感じる。限られた空間を上手に使えるようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	必ず目を離さないようにしている。	子どもの状態によって柔軟に職員を配置する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	階段があり、小さい子は転倒しないか不安	階段は撤去できないが、滑り止めマットを敷くなど環境整備を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日必ず清掃、物品整理をしている。	とくになし
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別での対応が必要な場合は個室での対応をしている。	とくになし
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	毎日の申し送りで話し合いをしている。	とくになし
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価表をとり、従業員とも共有している。	とくになし
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	毎日の申し送りで職員の意向を聞いている。	とくになし
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	外部評価できている。	とくになし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月行っている	とくになし
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	プログラムは多職種で考えていき予定表にて公表している	とくになし
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	ニーズも把握したうえで適切に行っている	とくになし
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	ケース会議を開催している	とくになし
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	共有するためのケース会議を開催している	計画に沿った支援を適切に行いたい
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	あまり使用できていない場面もある	評価ツールの勉強会などを開催していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	ガイドラインに沿った支援内容を設定している	とくになし
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	行っている	とくになし
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日違うプログラムにすることで刺激を取り入れている	とくになし

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	個別・集団での支援を行っている	とくになし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	毎日必ず行っている	とくになし
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	振り返りは翌日に行っているが、振り返り自体は毎日できている	とくになし
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録はしっかりととれている	遅れないように業務分担していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングは毎月漏れがなくできている	とくになし
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	複数組み合わせた支援を行っている	複数組み合わせた支援を行っている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	無理強いはせず、子供たちに活動を提案する機会も設けている	とくになし
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	できている	とくになし
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	教育機関とはとれているが、医療・保健機関との連携は不十分	連携できるようにしていく
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	80%	20%	あまり参加できていない	連携できる機会を設ける
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	あまり参加できていない	参加できる機会を設けていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	60%	40%	参加している	とくになし
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	話し合いは大切にしている	とくになし
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	60%	40%	契約時に重点的に説明している	参加できる機会を設けていく	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	子ども・保護者の意向を重点的にしている	とくになし	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	説明と同意はしっかりとるようにしている	とくになし	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談援助はしっかりととれている	とくになし	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者会などはできていない	今後も法人内で話し合い前向きに検討をしていく
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速かつ適切に対応できている	とくになし
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPやSNS等で発信している	とくになし
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	毎月取扱いに関してチェックリストを用いて確認するようにしている	とくになし
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	配慮がある家庭に関して関係機関とも連携を取りながら協力している	とくになし
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	毎年1回地域住民も参加できる行事を行っている	とくになし
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実施している	とくになし
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	実施している	とくになし
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認は必ずしている	とくになし
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	契約時に確認している	とくになし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	できている	とくになし
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	できている	とくになし
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月事例報告の共有を行っている	とくになし
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎月1回チェックリストを用いて対応をしている。虐待防止委員会も設置している	とくになし	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に説明しており、記載もできている	とくになし	